

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終了する2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	ボルシェセンター堺 新築工事	階数	地上3F		
建設地	大阪府堺市堺区北清水町2丁80番	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内 市街化区域	平均居住人員	50 人		
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,750 時間/年		
建物用途	物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2015年2月9日		
敷地面積	1,691 m ²	作成者	田村 淳		
建築面積	1,008 m ²	確認日			
延床面積	2,330 m ²	確認者			

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	安全に業務を積極的に行える環境の整備。周辺のまちなみや景観に対して調和する威圧感のない親しみやすいイメージをめざす。	その他 0
Q1 室内環境	個別エアコンの採用により、ゾーンごとの温度設定を可能にしている。汚染物質をできるだけ発生させないようF☆☆☆☆の建材を使用。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺建物や景観に調和したデザインとしている。
LR1 エネルギー	外気に する外壁・屋根に適切な断熱材を施して外皮性能に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が95%を達成している。
Q2 サービス性能	給水・排水管に長寿命管材を使用。ゆとりのある階高としている。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマ付水栓・節水型便器を採用し節水に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負)、LR: Load Reduction (建築物の環境負 低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	ポルシェセンター堺 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区北清水町2丁80番1	1	B+
	主用途/延床面積	物販店 / 2,329.87 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.2	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.2	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.7	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	